



取手駅 西口開発

区画整理事業とA街区再開発

「再開発と図書館づくり」を 考える市民学習集会



新設の駐車場の整備・営業が進む再開発事業用地内
写真の右奥にウェルネスプラザ=2月16日撮影

今進められている取手駅西口前 65,000㎡の区画整理事業は、間もなく来月3月に完了する予定です。その区域内にあるA街区（7,000㎡）の再開発事業は、計画の見直しが続いていましたが、2月8日に取手市都市計画審議会で新しい都市計画案が承認されました。今後、この案は市長に答申され、正式な決定が行われます。

当初20人いた地権者は7人まで減り、地価も上がらない状況が続いています。さらに、近年の建設資材や人件費の高騰も続き、今後の見通しは不透明な状態です。

14日、取手福祉交流センターにおいて再開発とそこに導入する図書館等複合公共施設に関し、市民学習会（主催・取手駅前開発を考える会・遠藤俊夫代表）が開かれ、市民40人が参加しました。

社会教育と都市計画専門家が助言

学習会は、「再開発の現段階と問題点」について遠藤俊夫氏の報告。都市計画専門家遠藤哲人氏（区画整理・再開発対策連絡会議事務局長）が「再開発の現状をどう見るか？」。社会教

育専門家長澤成次氏（千葉大名誉教授）が、「図書館とは、私たちにとってどういう施設なのか？」について報告後、参加者からの質疑・討論が行われました。



左から遠藤哲人・長澤成次
の3氏

「公共の福祉」に適した駅前づくりこそ

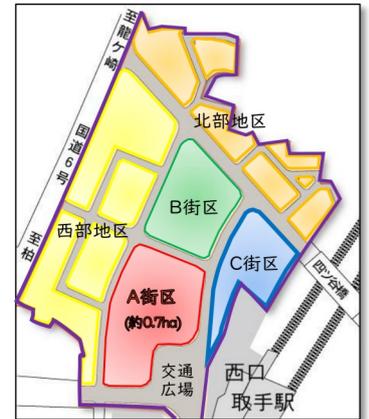
遠藤哲人氏は、「再開発側（組合）で負担しなければならない地権者の休業補償、営業補償、除却費用などの費用は、すべて区画整理側（取手市）で負担。再開発側は更地の上にビルを建てるだけでなく、開発で生み出すビル床原価が安くなり、デベロッパーのマンション仕入れ価格も安くなる。」と、区画整理事業全

体（65,000㎡）の事業費220億円の50%が「A街区再開発」区域内（7,000㎡）に使われたことの問題点を明らかにしました。

最後に、「公共の福祉による」との法の目的に、適した都市計画事業へ、市民、議会、自治体、民間事業者の総合力で「公共の福祉」を具体化しよう。と訴えました。

地方教育行政法違反改め、 住民の意思尊重して

長澤成次氏は、「図書館を核とする複合施設の整備計画」は、「教育機関の設置、及び廃止に関することは、教育委員会の職務権限と地方教育行政法に定めており」、「教育委員会での検討・議決もなく、決定事項とすることは、遠藤俊夫さんらの指摘のように、明らかに地方教育行政法違反といえる。」



西口開発区域構想図

教育委員会総会での教育次長の「法令上、教育委員会の意見を聴くなどの手続きは必要とされていない」との発言はありえないとしました。

本来公共施設は住民のものであり、住民の意思を尊重しその運営にあたり、現行法令にも定めていること、それはまた住民の世論と運動で決まると強調しました。

取手市議会

2月16日臨時市議会で変わりました

取手市議会では、議員任期が半分過ぎる2月に臨時議会を開き、常任委員会のメンバーを見直すことが慣例になっています。

新たな日本共産党議員の所属委員会を紹介します。

日本共産党議員の常任委員会所属

- 総務文教常任委員 遠山 ちえ子
- 福祉厚生常任委員 加増 みつ子
- 建設経済常任委員 本田かずなり
- 予算決算常任委員 加増みつ子・本田かずなり
- 議会運営委員 遠山ちえ子

3月市議会は2月27日から

3月定例市議会は、2月27日から3月19日（予定）迄開催されます。令和8年度一般会計予算（案）499億1千万円（前年504億4千万円）をはじめ市民の暮らしにかかわる各種特別会計予算（案）の審議と、議員の政策提言（一般質問）及び市民の請願など審査されます。ご意見等お寄せください。

2026
衆院選

自民党3分の2超議席獲得 高市早苗首相早くも改憲宣言

8日投開票の総選挙（定数465）で、自民党が3分の2を超える316議席を獲得。高市早苗首相は「国民の信任をいただいた」として、「憲法改正の挑戦も進める」と宣言しました。戦後かつてない「戦争国家づくり」の危険性が生まれています。

衆院選は「高市旋風」が吹き荒れる中で、多くの政党がその流れに迎合。野党第一党の立憲民主党が公明党にのみ込まれました。それらは、自民党政治に正面から立ち向かう日本共産党にとって大きな逆風となり、現有8から4議席に後退という悔しい結果となりました。ご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

政治の右傾化が強く危惧される下で、日本共産党は、高市政権による強権政治を許さず、平和、くらし、人権、民主主義を擁護し発展させるために、国会内外のあらゆる分野で、国民の共同を呼びかけ新たなたたかいに全力を挙げる決意です。

引き続き皆様のご支援ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

日本共産党

平和・くらし・人権・民主主義の擁護発展に尽くします

お知らせコーナー

戦争させない・9条壊すな！

総がかり取手行動パート 71



総がかり取手行動パート 67
= 2025年4月12日、取手駅西口

緊急学習集会

“大軍拡政策と百里基地反対運動”

講師：栗又 衛さん（百里平和委員会）

・2月27日（金）PM1：30～3：00

・取手福祉会館 2階 会議室B1

参加費（資料代）300円

*学習会終了後、取手駅前「憲法チラシ」配りにご協力ください。

主催：総がかり取手行動実行委員会
連絡先 090-6471-7090

実行委員会では、「高市政権の戦争国家づくりストップ」へ多数の参加を呼び掛けています。

2026年茨城県高齢者大会 in 土浦

2026年 百里初午まつり

今こそ平和を語ろう
“憲法9条、ここにあり”

憲法・平和まもる
決意新たに



初午まつり参加者
2月11日撮影
(森住 卓氏提供)

2月11日、小美玉市航空自衛隊基地わきの百里平和公園（誘導路を「く」の字に曲げさせている）で、恒例の「百里初午（はつうま）まつり」が小雨の降る中で開催されました。

改憲と非核三原則の見直し、スパイ防止法等、日本の軍事国家体制の強化に走る危険が強まる中、県内外から百里基地反対同盟をはじめ、平

和団体、日本山妙法寺、共産党、社民党、新社会党等団体・個人400人が参加、取手からも9条の会会員らが参加し、憲法・平和を守る人々と連帯しました。

主催者代表の一人、矢萩陽一弁護士は「再び戦争の危険が迫っている。しかし我々には平和憲法がある。憲法を正面に据えた団結を広めよう」と訴えました。

今年の大会は「語ろう 人権と平和」をメインスローガンに、2月14日（土）、県南生涯学習センター（土浦市）に350名の参加で行われました。

午前は、①気候危機 ②高齢者の認知症予防 ③世代を超えて何でも語ろう の3分科会。午後は、対話方式でのジャーナリスト青木理さんの講演が行われました。

憲法改悪に抗い、 民主主義と平和を守ろう

青木理氏 講演

突然の解散、総選挙は、自民党圧勝という結果だが、実は国民の4分の1の支持でしかないこと。解散権の乱用と小選挙区制の弊害の問題を指摘しました。

その他、ジャーナリストとして取材から見えてきたこと



高齢者大会で講演する青木理氏
=2月14日、土浦市

を縦横無尽に語りました。

東日本大震災から15年たった福島県飯館村の今の様子。「山上徹也裁判」については、統一協会と政治の関係がうやむやにされ、政治の罪だけが裁かれていないこと。

憲法改悪にどうあらがっていいかわからない。自力で民主主義を勝ち取ってきた韓国に習い、私たちも自分の立っている場所で、一人ひとりが頑張っていく。とエールを送ってくれました。